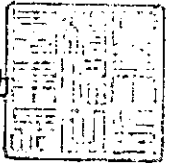


東温建第1269号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

東温市長 高須賀 功



「今後の道路行政についての意見・提案」について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件、
別添のとおり提出しますので、よろしくお願い致します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

本市が活力に満ち「小さくても きらりと光る、住んでみたい、住んでよかったまち」となるために、地域のすみずみまで耳を傾け、市民の目線に立った施策を展開中です。

地域間格差、ニーズの多様化等、現下の社会情勢は大きく変化しており、また、地方財政に明るい兆しはなく、非常に厳しい状況にあります。

さて、今後の道路行政にお願いしたいことは、都市と地方の格差が広がる中、まだまだ地方には道路は必要だという認識を持ち、下記のことを重点に推進していただきたい。

①【四国のネットワーク】

四国においては何と言っても「8の字ネットワーク」が大きなテーマであり、四国地域の道路行政の根幹であることは言うまでもありません。

②【災害に強い道路整備】

豪雨・地震等大災害時の緊急輸送用道路として、補完ルートの整備も推進していただきたい。

③【道路ストック】

道路の維持管理は地味ではありますが、基本中の基本であり、特に橋梁については定期点検業務が重要であると思います。

④【生活道路への補助】

中山間地においては交通手段が車しかないのが現実であり、費用対効果だけではない道路が必要であることを認識していただき、補助制度の更なる拡充をお願いしたい。

⑤【交通安全対策】

局部改良等を効果的に実施し、待ったなしの交通安全対策は急務であります。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

東温市および本市の周辺には、愛媛大学医学部付属病院、国立病院機構愛媛病院、四国がんセンター等県内屈指の高度・先端医療施設があります。

大きな病院を抱える行政として、大災害時等にはライフラインは大丈夫だろうか、道路機能は十分に対応できるのか、不安を抱いています。

○課題

災害時にも負けない輸送道路、一分一秒を争う救急救護道路としては、複数のルートを整備し不測の事態に備えることも課題であります。

【パーク&ライド】

地球環境問題については益々関心が高まり、各方面で様々な取組みが行なわれているところではありますが、東温市は公共交通機関である「伊予鉄道」があるにも関わらず、自動車の依存度は高いように思われることから、環境にやさしい交通手段に転換する仕組みづくりを行い、将来的にはバランスが取れた道路と鉄道の利用「パーク&ライド」の推進を図っていきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

愛媛県東温市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
(例) ・橋梁の長寿命化 修繕計画	長寿命化修繕計画に先立ち、橋梁の定期点検を本格的に実施している。	防災意識の高まりから、建物の耐震化は進んでいる一方、遅れていた「道路ストック」の安全性の検証をスタートさせることができた。 「安全・安心のまちづくり」体制が着実に整いつつある。	今後は重要となる「保守・維持・管理」にも更なる助成をお願いしたい。